

2016 年度環境活動レポート

(活動期間;2016 年 1 月～12 月)

『地球環境を守ろう』



発行日 平成 29 年 3 月 24 日

改訂 平成 29 年 4 月 14 日

神奈川協立自動車株式会社

環境方針

企業理念

神奈川県相模原市で事業を営む私達にとり、自動車整備業を通して「環境」と「公害」の無い社会を守ることが使命です。そこで弊社はエコ整備を始めとした手段により、二酸化炭素排出量の削減等に尽力し、環境保全に努めます。

環境理念

環境問題は、自動車整備・販売に携わる事業者として最重要課題です。二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水使用量の削減等に取り組みます。またエコ整備、低公害車の販売を通して、社会の環境への意識が更に高まるよう努めます。企業のあらゆる活動において環境保全に配慮した行動を心掛けます。

環境行動方針

当社は、環境理念に基づき「地球環境を守ろう」をスローガンに、環境との共生・調和を最重要課題と認識し、自ら責任を持ち全従業員をあげて環境負荷の低減に配慮した活動に取り組みます。そのために、以下の「環境行動方針」を定めます。

(1) エコ整備・エコ車検の推進

エコ整備(環境汚染防止整備)により、燃費向上による燃料消費量の削減、排出ガス・騒音等の低減を目指します。エコ整備技術の向上並びに、エコ整備の必要性への理解を深められるように努めます。

環境車検をメニュー化して、エコ車検の推進に努めます。

(2) リサイクル活動による省資源化の推進

リサイクル自動車部品の使用を積極的に使用し、省資源に努めます。

(3) 二酸化炭素排出量の削減

事業活動における電力・ガソリン・軽油等の削減による二酸化炭素排出量の低減に努めます。また社有車における、アイドリングストップ、エコドライブやエコ整備(環境汚染防止整備)の普及・拡大を継続的に推進します。グリーン購入法「特定調達品目」のエンジン洗浄を行います。

(4) 廃棄物排出量の削減

事業所から出る廃棄物を最小限にするよう努めます。そのために、分別処理、再利用・再生利用を徹底的に行います。

(5) 総排水量の削減

事業所内の使用水量を削減し、総排水量の削減に努めます。

(6) 化学物質使用量の削減

工程内で使用する塗装材・有機溶剤の PRTR 法対象化学物質使用量削減に努めます。

(7) グリーン購入の推進

購入する用品のグリーン購入を推進します。

(8) 環境関連法規制等の遵守

環境関連法規制等を遵守することを誓約します。

(9) 環境方針は、全ての従業員に周知します。



平成 20 年 7 月 22 日制定

平成 28 年 3 月 22 日見直し

全国アドバンスクラブ会員

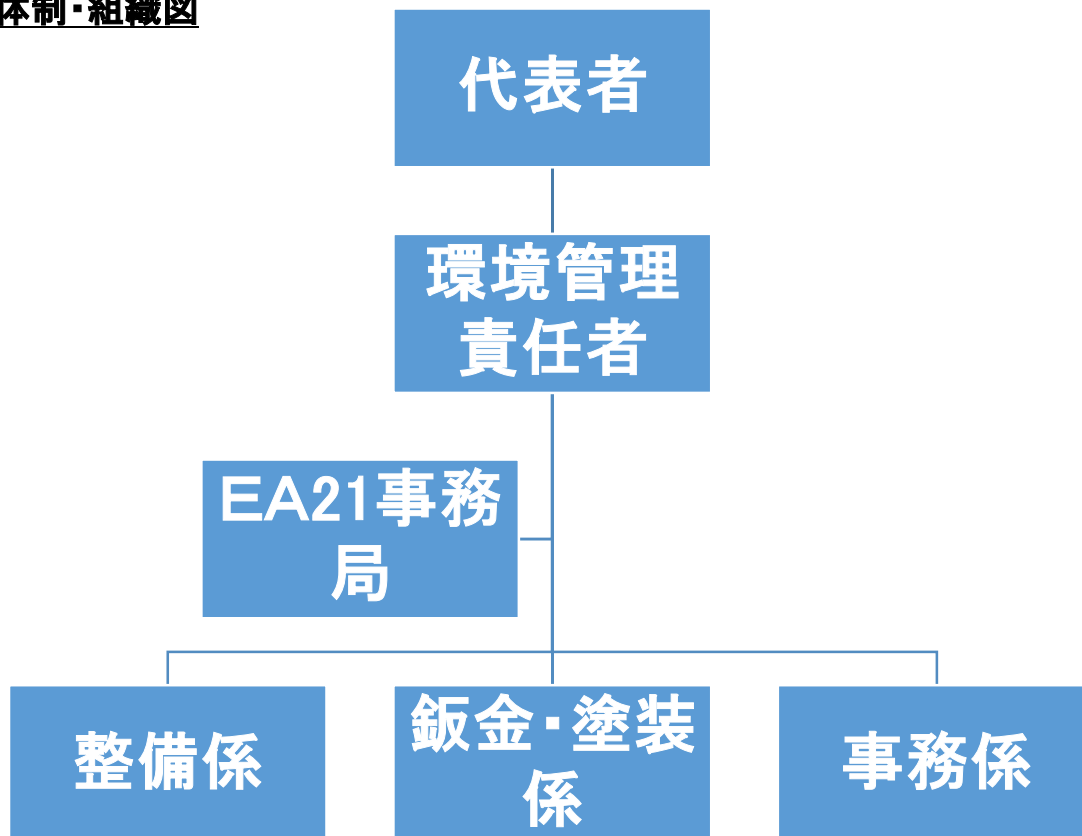
神奈川協立自動車株式会社

代表取締役 當房 秀秋

◆ 事業の概要、認証・登録の範囲

- (1) 「認証・登録」事業者及び代表者
神奈川協立自動車株式会社
代表取締役 當房 秀秋
- (2) 所在地
〒252-0132 神奈川県相模原市緑区橋本台1丁目23番23号
- (3) 対象事業所;本社 (全社・組織)
- (4) 環境保全関係の担当者連絡先
環境管理責任者 吉田 弘右
連絡担当者 中川原 淑子
連絡先 電話;042-773-1551 FAX;042-779-1441
- (5) 事業規模
社員数 12名
社屋床面積 562.9㎡
- (6) 事業内容(認証・登録の範囲)
自動車整備、板金、塗装等分解整備事業並びに保険代理店業務
- (7) 対象事業年度;1月～12月
次回環境活動レポート作成予定;2018年2月末

◆ 実施体制・組織図



	役割、責任及び権限
代表者(社長)	環境方針の策定
	環境管理責任者の指名
	経営資源の準備
	法規制遵守、目標、実施計画等の指示と承認
	環境経営システムの見直しと指示
	環境活動レポートの作成
	グリーン購入品の購入指示
環境管理責任者	環境経営システムの構築と維持
	環境経営システムの実施状況の確認と評価、及び代表者への報告
	環境情報把握(顧客要求、法規制の改正情報を含む)
	環境活動に係る会議等の開催、活動の指示
EA21事務局	環境負荷データの把握と報告
従業員	環境活動の運用と実施状況の把握
	目標、実施計画の遂行
	グリーン購入対象製品の調査・購入

◆ 環境目標とその実績及び評価



項目	2014年度 目標	2014年度 実績	2015年度 目標	2015年度 実績	2016年度 目標	2016年度 実績	達成率 (実績/目標)	評価
二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	41128	40880	40062	42279	39654	40750	△102%	灯油使用量増
電力(kWh)	44652	42090	41248	40396	40827	41402	△101%	節電意識啓発
灯油(ℓ)	2.619	3159	3095	3673	3064	3459	×113%	顧客対応で不 規則作業増。 是正処置表発行
ガソリン総量(ℓ)	4142	3801	3725	4183	3687	3709	△101%	代車給油量増
ガソリン燃費(km/ℓ)	—	—	データ把握	9.5	データ把握	10.0	—	監視継続
軽油総量(ℓ)	503	669	656	711.3	649	548	○84%	効率運行
軽油燃費(km/ℓ)	—	—	データ把握	7	データ把握	6.2	—	監視継続
LPG(kg)	50以下	40	50以下	46	50以下	47	○94%	節約意識
化学物質使用量 (kg)	データ把握	1008	988	1087.9	978	1067	△109%	多色化 監視継続
産業廃棄物発生量 (kg)	8801	1196	1172	249	1160	826	○71%	リサイクル促進
事業系一般廃棄物 (kg)	データ把握	1500	データ把握	1560	データ把握	1560	○100%	監視継続
水使用量(m ³)	292	256	260以下	239	260以下	280	△108%	監視継続
エコ整備(台 数)	70	63	64	66	65	70	○+8%増	要顧客説明
グリーン購入 (新規事務用品)	データ把握	—	100%	100%	100%	100%	100%	励行
化学物質使用量 削減	水性塗料への移行検討(漸次移行)							

・東京電力平成25年度実排出係数;0.530kg-CO₂/kWh

・評価記号 ○印:達成 △印:監視 ×印:未達成

評価の判断 ;±10%を目安とした。

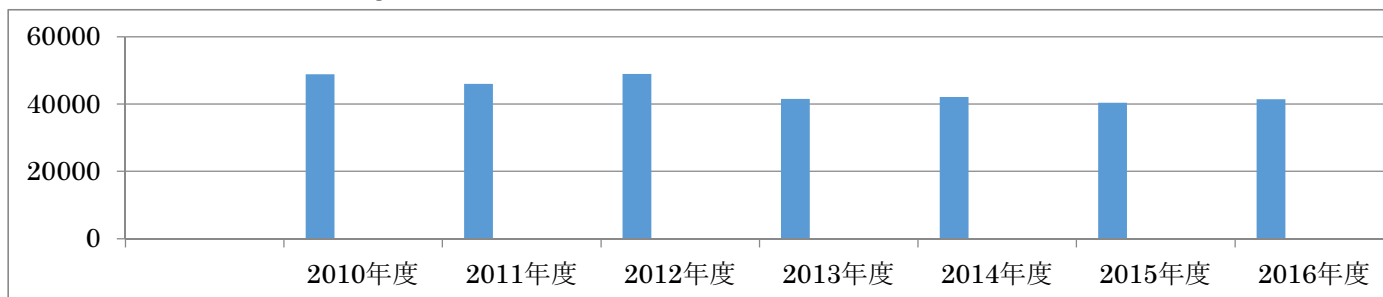
「経年変化グラフ;二酸化炭素排出量、電力、灯油。ガソリンの実績」

① 二酸化炭素排出量

東京電力平成 25 年度実排出係数;0.530kg-CO₂/kWh

	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
二酸化炭素排出(kg-CO ₂)	43604	42391	43693	40127	40880	42279	40750

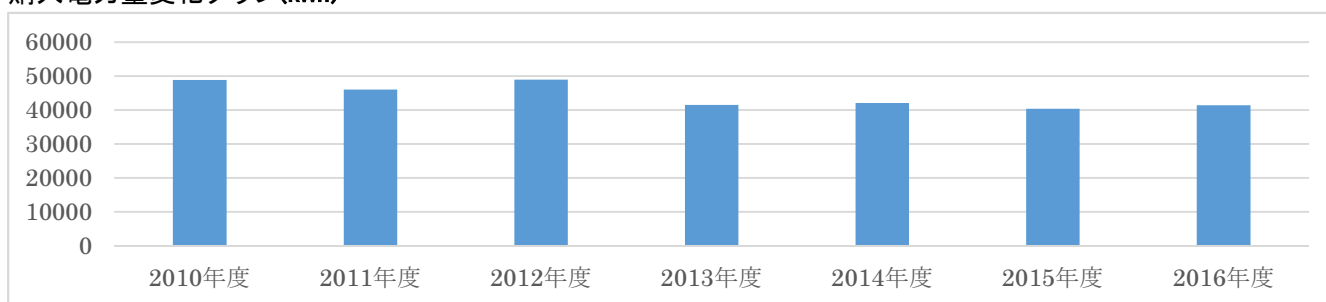
二酸化炭素排出量変化グラフ(kg-CO₂)



② 購入電力

	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
使用電力(kWh)	48814	46019	48895	41468	42090	40396	41402

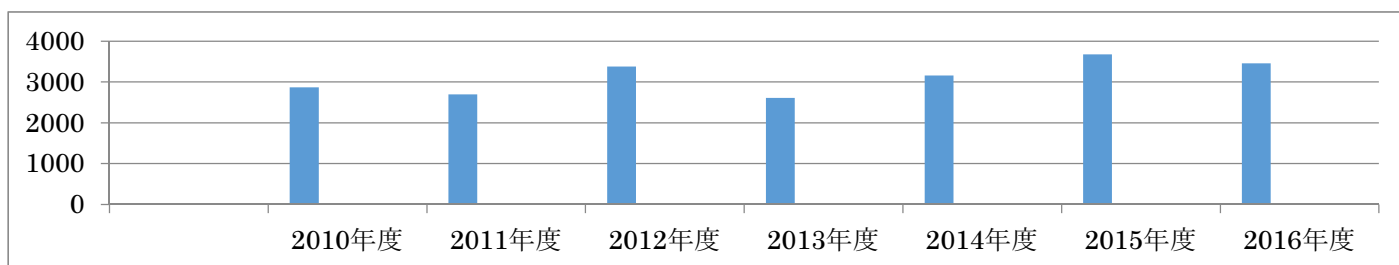
購入電力量変化グラフ(kWh)



③ 灯油

	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
灯油 (ℓ)	2866	2700	3376	2614	3159	3673	3459

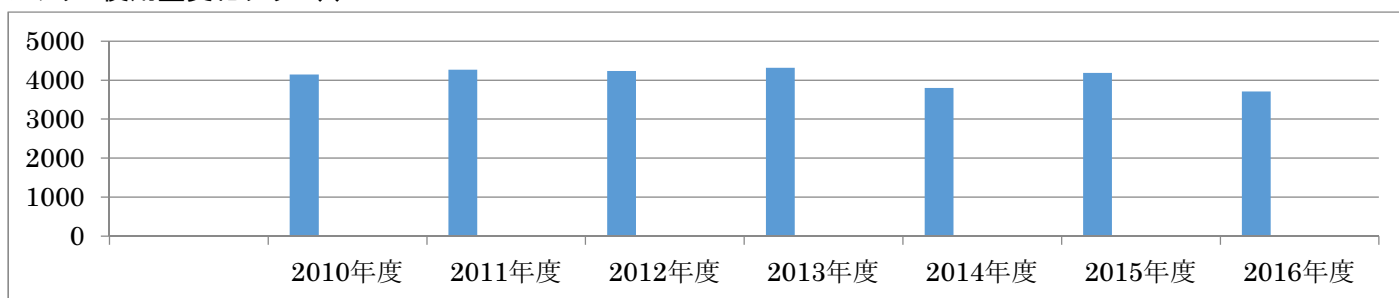
灯油使用量変化グラフ (ℓ)



④ ガソリン

	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
ガソリン(ℓ)	4145	4269	4231	4318	3801	4183	3709

ガソリン使用量変化グラフ(ℓ)



**二酸化炭素排出量が 2012 年度から 15%減少。照明の LED 化、車両のエコドライブ意識浸透効果と推測。
灯油については、暖房器具増加があり増加傾向である。**

◆主要な環境活動計画の内容

(1) 数値目標を達成するための取組

1) 二酸化炭素排出量(省エネに関する取組)

- ① 社用車の効率的な運転管理の推進
整備車両の引き取り・納車の合理的な運行
- ② アイドリング時間の削減、アクセルむらのない運転の推進
- ③ 社用車の法定点検整備による燃料効率の向上
- ④ 燃料効率のよい車両の使用
- ⑤ 昼休みの照明消灯(減灯)およびパソコンは極力待機電力とする。
- ⑥ 買い替え時には、省エネタイプのOA機器の導入
- ⑦ 室内空調は、夏は28℃±1℃、冬は20℃±1℃とする。
- ⑧ 社有車に省燃費に有効なエコ整備・エコ車検を実施、二酸化炭素低減、燃料使用量を把握し、継続し低減策を検討する。
- ⑨ 排出ガス低減・省燃費に有効なエコ整備・エコ車検の推進で二酸化炭素低減。
- ⑩ グリーン購入法適合のエンジン洗浄で、二酸化炭素の低減。

2) 廃棄物の排出量(リサイクルに関する取組)

- ① 分別を徹底し、再利用・再生利用の比率を上げると共に、削減に努める。また、最終処分に回る分の削減に努める。
- ② 紙類 : 白上質紙、新聞紙、段ボール、その他紙類の再利用促進
- ③ 一般廃棄物: 缶、ビン、ペットボトル、紙パック、発泡スチロール、プラスチック、粗大ゴミ、その他の可燃ゴミ、不燃ゴミ
- ④ 産業廃棄物: リサイクル化の分別促進
- ⑤ 縮小コピー、裏紙使用の採用
- ⑥ ミスした紙は裏面をメモ用紙として使用
- ⑦ 仕出し弁当を容器再使用業者からの購入継続
- ⑧ 金属類の分別回収による資源化
- ⑨ 廃プラスチックの分別、再生利用化

3) 水使用量(節水の取組)

- ① トイレ排水の削減のために、貯水タンクにペットボトルを沈めている。
- ② こまめに節水に努める。
- ③ 車両洗車用ホース先端に、節水のためにワンストップノズルを取り付けている。

4) グリーン購入の推進(新規購入事務用品)

- ① 名刺の再生紙使用化
- ② エコマーク作業衣への切り替え(ロゴマーク変更前の対象品は、そのまま使用)
- ③ エコマーク文房具の購入方法調査と実施

5) その他

- ① 環境に配慮した作業方法の提案活動
- ② 自社に関する環境関連法規の整備
- ③ エコ整備・エコ車検の推進

(2) その他の取り組み事項

- ・社員の環境への意識高揚のために定期的な研修会や会議を行う。
- ・教育台帳には、EA21関連の周知事項を記載する。

年度及び中期目標(2015年度～2017年度)



項目		基準値 (2014年度 実績)	2015年度目標 (基準比-2%)	2016年度目標 基準比(-3%)	2017年度目標 (基準比-3%)
二酸化炭素排出量	kg-CO2	40880	40062	39654	39654
電力	kWh	42090	41248	40827	40827
灯油	ℓ	3159	3095	3064	3064
ガソリン(総量)	ℓ	3801	3725	3687	3687
ガソリン(燃費)	km/ℓ	—	データ把握	データ把握	目標設定
軽油(総量)	ℓ	669	656	649	649
軽油(燃費)	km/ℓ	—	データ把握	データ把握	目標設定
LPG(維持管理)	kg	40	50以下	50以下	50以下
化学物質使用量	kg	1008	988	978	978
産業廃棄物発生量	kg	1196	1172	1160	1160
事業系一般廃棄物 (維持管理)	kg	576	目標設定	データ把握	目標値以下
水使用量 (維持管理)	m ³	256	260以下	260以下	260以下
エコ整備 台数	台	63	64	65	65
グリーン購入 (新規購入事務用品)		データ把握	100%	100%	100%

・東京電力平成 25 年度実排出係数;0.530kg-CO₂/kWh

◆ 1年間の運用の結果と評価、次年度の取り組み

(1) 取り組みと評価

- ①環境目標の達成状況については、二酸化炭素排出量とガソリン使用量が僅かに目標値をオーバーした。活動の成果があったと思っている。灯油使用量は、目標値をオーバーした。ストーブの台数増加と顧客対応で時間外作業が増加した事による。灯油の増加要因については、対策を顧慮中。
- ②全社員に対し、電力と燃料のムダを無くするよう、更に徹底を促した。
- ③産業廃棄物発生量は、有価及びリサイクルを促進し残材を産廃として処分するようにしている。
- ④一般廃棄物については、個別に分類して、その量を把握している。
処分は、相模原市の施設へ持ち込み。
- ⑤水使用量は、年毎で多少変動している。車両洗車用ホース先端へのワンストップノズルを取り付けている。
- ⑥照明は、水銀灯を含め LED 化した。節電効果がある。

(2) 社員の意識高揚

全社員による会議を 3 回行った。
この会議によって、環境負荷、地球温暖化等に対し理解が深まり、意識の高揚が感じられるので継続する。

(3) 次年度の取組み

環境車検・エコ車検・エコ整備の更なる推進と石油起源エネルギー使用量削減を重点課題として取り組む。

① 数値目標を達成するための取組

- ・灯油の使用実績をデータ分析して、傾向を把握し、増加傾向に歯止めをかける。
- ・ガソリン、軽油については、燃費を把握している。
ガソリンについては、代車時のガソリン供給は顧客サービスと考え、社用と分離して使用量を把握する。
- ・エコ整備の実施を推進する。

② 廃棄物の排出量(リサイクルに関する取組)

- ・分別を徹底し、再利用・再生利用の比率を上げると共に、削減に努める

③ 水使用量(節水の取組)

- ・前年度と同じ項目で、活動を徹底する。

④ グリーン購入の推進

- ・新規事務用購入の際、エコマーク等を調査することを継続。

⑤ その他

- ・環境に配慮した作業方法及び環境関連法規の改定等の確認を継続する。

◆代表者による見直しと評価

- ① 代車時の給油量は満タンで貸出しているが、使用後は満タンで帰ってこない例が多い。
顧客には説明しているが、ある程度はサービスとして考えて、今後もサービスを継続する。
致し方ない。用途毎に使用量を分けて把握する。
エコ整備・エコ車検については、事業の核として、今後も推進する。
- ② 灯油の使用量が、目標を大幅に超えた。使用量を小まめに把握し検討する。
- ③ 産業廃棄物については、有価処分とリサイクルを促進した結果、大幅に削減できた。
継続して削減に努める。

・次年度の環境方針、環境目標、環境活動計画及び環境経営システム等の変更の必要は無い。

◆環境関連法規の遵守状況と評価並びに違反、訴訟等の有無

(1)適用する主な環境関連法規と遵守状況

主な適用法規等	該当する活動	遵守評価
自動車リサイクル法 (使用済自動車の再資源化に関する法律)	使用済自動車の適正な処理	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 神奈川県生活環境の保全等に関する条例	廃棄物適正処理	○
消防法	消火設備の設置、維持管理(年次点検)	○
フロン排出抑制法	簡易点検	○
資源有効利用促進法	最寄りの製造業者への引渡し、 及び回収・リサイクル費用の支払	○
騒音・振動規制法 神奈川県生活環境の保全等に関する条例	条例に基づく指定	○
家電リサイクル法	小売店・自治体を通じた 指定引き取り場所への引き渡し	○
化学物質の管理(PRTR法)	塗料・有機溶剤の使用量把握 SDSの保管・管理	○
相模原市「化学物質の自主的な管理の状況の 報告制度」	指定物質についての自主報告	△
悪臭防止法 神奈川県生活環境の保全等に関する条例	塗装ブースの管理	○
下水道法	油水分離層の点検	○
自動車 NOx・PM 法	排出ガスの規制	○
神奈川県条例;ディーゼル車の排ガス規制	車検データの確認	○
労働安全衛生法・特定化学物質障害予防規則	屋内塗装作業場の規制	○

○印;達成(遵守) ×;未達成(不足) △;監視

(2)違反、訴訟等の有無

- ・近隣からの苦情等は、過去3年間においてありません。
- ・環境関連法規の違反、行政からの指導、訴訟等は、過去3年間においてありません。

◆コミュニケーション(地域との関わり トラブル等)

地域とのトラブル、クレーム等はありません。

町内会(自治会)の夏祭り・総会・忘年会等催しものには積極的に参加し、周辺道路掃除なども行って、良好な近隣関係を保っています。以上の地域活動は、毎年継続している。

以上